

授業科目 臨床栄養学 II

【担当教員名】 永井 徹		対象学年	3	対象学科	健栄
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 臨床栄養学Ⅰで学習した疾患、病態をさらに発展させ、諸疾患に関する十分な知識を修得するとともに、栄養学的見地からの疾患、病態・病期における診断に適切な栄養療法の選択を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 傷病者の病態や栄養状態に基づいた適正な栄養管理を理解する。 2. 栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解する。 3. 臨床栄養に必要な知識と技術の応用力を身につける。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	代謝疾患 高尿酸血症と痛風の病態と栄養療法			1～3	講義
2	骨粗鬆症の病態と栄養療法			1～3	講義
3	虚血性心疾患の病態と栄養療法			1～3	講義
4	糖尿病腎症の病態と栄養療法			1～3	講義
5	腎疾患 1（糸球体腎炎とネフローゼ症候群の病態と栄養療法）			1～3	講義
6	腎疾患 2（慢性腎臓病の栄養療法）			1～3	講義
7	腎疾患 3（血液透析と腹膜透析の栄養療法）			1～3	講義
8	血液疾患、感染症の栄養療法			1～3	講義
9	呼吸器疾患の栄養療法			1～3	講義
10	消化器疾患 1（胃腸、クローン病、潰瘍性大腸炎の栄養療法）			1～3	講義
11	消化器疾患 2（肝炎、肝硬変、膵疾患の栄養療法）			1～3	講義
12	免疫、アレルギー疾患の栄養療法			1～3	講義
13	その他 臨床栄養学実習（臨地）に必要な知識 1			1～3	講義
14	その他 臨床栄養学実習（臨地）に必要な知識 2			1～3	講義
15	まとめ			1～3	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床栄養学	中村次次、小松龍史 他	南江堂	2014・3,800円＋税
参考書		改訂第4版病態栄養ガイドブック	日本病態栄養学編	メディカルレビュー社	2013・3,500円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、レポート、定期試験から評価			【履修上の留意点】		